



DVDビデオ・ナビゲーション内蔵DVD/MD AVシステム

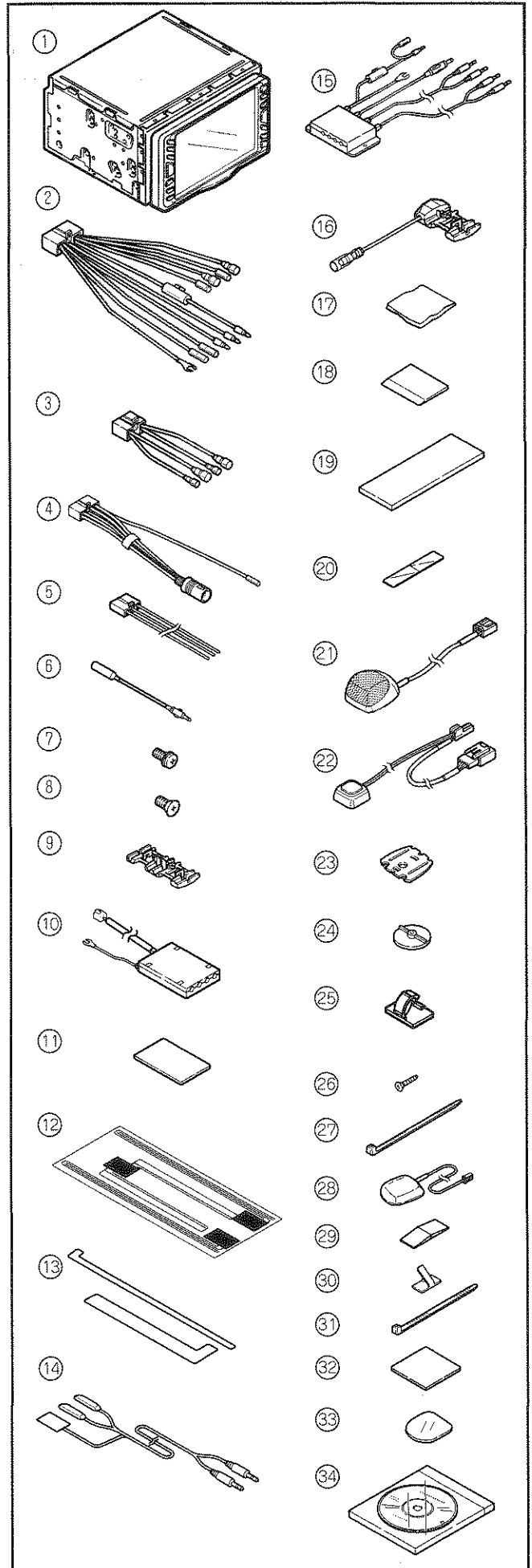
## AVN7701D

### 取付説明書

- 取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。
- 販売店様へ  
取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。
- 「取扱説明書」、「取付説明書」をお読みにになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

# 構成部品

図中番号	品名	数量
①	メインユニット	1
②	接続コード (10 P-キホツ)	1
③	接続コード (6 P-キホツ)	1
④	接続コード (本体に接続済み)	1
⑤	接続コード (5 P)	1
⑥	ラジオアンテナ延長コード	1
⑦	座金付き小ねじ (M5×8)	8
⑧	皿ねじ (M5×8)	8
⑨	ショートコネクタ	3
⑩	アンテナセレクト	1
⑪	両面テープ(50×75)セレクト、プースター用	2
⑫	フィルムTVアンテナ (R、L)	一式
⑬	型紙 (TVアンテナ用)	一式
⑭	TVアンテナコード	2
⑮	アンテナプースター	1
⑯	電源分岐コード	1
⑰	クリーナ (布・TVアンテナ取付用)	2
⑱	ヘラ	1
⑲	ハーネス固定用テープ	2
⑳	補助フィルム	4
㉑	音声認識マイク	1
㉒	音声認識用スイッチ	1
㉓	マイクスタンド	1
㉔	ホルダー	1
㉕	クランプ樹脂製 (マイク用)	4
㉖	皿ねじ (M3×14)	1
㉗	バンドクランプ短 (マイク/スイッチ用)	3
㉘	GPSアンテナ	1
㉙	防水クッション	1
㉚	クランプ金属製 (GPSアンテナ用)	3
㉛	バンドクランプ長 (GPSアンテナ用)	4
㉜	アースプレート (GPSアンテナ用)	1
㉝	ボディ保護用シート (GPSアンテナ用)	1
㉞	地図DVD-ROM	1



## ■安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 警告

- 本機はDC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。
- 本機を、ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所や同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。
- 車両に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認の上これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。
- 車両のボルトやナットを使用する場合は、ステアリング・ブレーキ系統やタンクなどの保安部品は絶対に使用しないでください。これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。
- 作業中のショート事故防止のため、取り付け前に必ずバッテリーの ⊖ 端子をはずしてください。感電や怪我の原因となります。
- 車両のボルトやナットを使用してアースを取るときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のネジは使用しないでください。事故などの原因となります。
- コード類は運転操作の妨げにならないよう、テープ等でまとめてください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻つくと危険です。
- 電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った・水がかかった・煙りが出る・変な匂いがするなど異常が起きましたら直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。
- 助手席にエアバッグが装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には取り付けしないでください。万一の作動時に正常な機能を発揮できなくなり危険です。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けしないでください。交通事故の原因となります。
- 走行中にTVを見ることは大変危険ですのでおやめください。

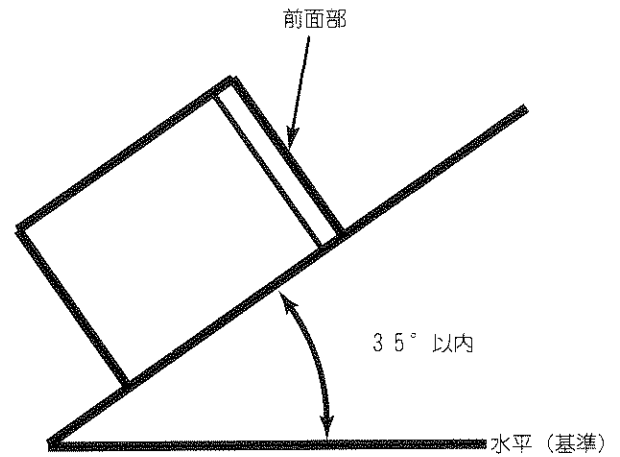
## 注意

- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気・ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。
- 振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けは避けてください。外れて事故や怪我の原因となることがあります。
- 正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- コード類を配線するときは、車両側部品とのかみ込みに注意してください。断線やショートにより事故や感電・火災の原因となることがあります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。
- フィルムTVアンテナ及びケーブル・コードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。表面処理を傷める原因となります。

# 取り付けについて

## 取り付け角度

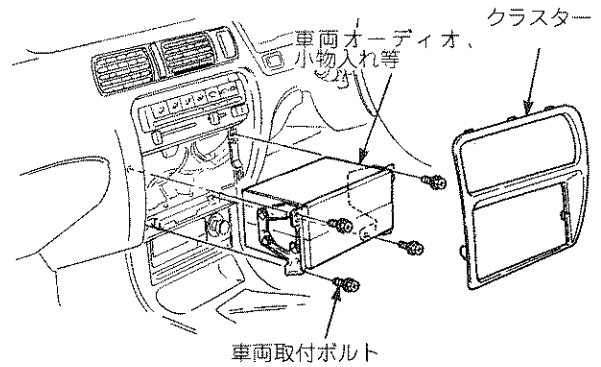
本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して、35度以内の角度で取り付けてください。音飛び・イジェクト不良等の原因となります。



# メインユニットの取り付け

## 一車のオーディオ取り外し（例）

- 1 車のオーディオ、小物入れなどを取りはずす。
- 2 オーディオ、小物入れを取り付けているブラケットを取りはずす。

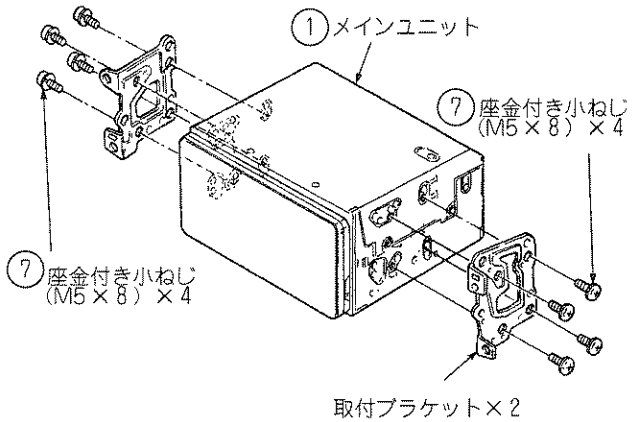


## トヨタ車への取り付け（例）

- 1 メインユニットにブラケットを取り付ける。
- 2 メインユニットを車に取り付ける。

### ポイント

取付ねじは必ず付属の（M5×8）をご使用下さい。指定の物以外を使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。



# フィルムTVアンテナの取り付け

## ⚠ 警告

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめてください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダル等に巻き付くと危険です。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因になります。

## ⚠ 注意

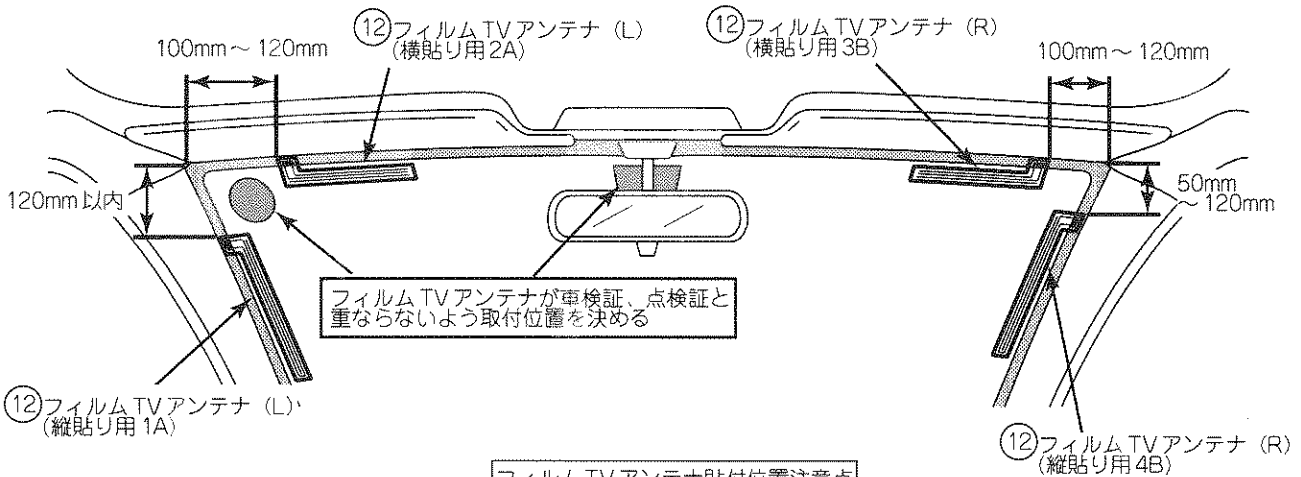
- 本取り付け要領書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。
- お車のフロントガラスにAM/FMラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように貼り付けてください。

## ポイント

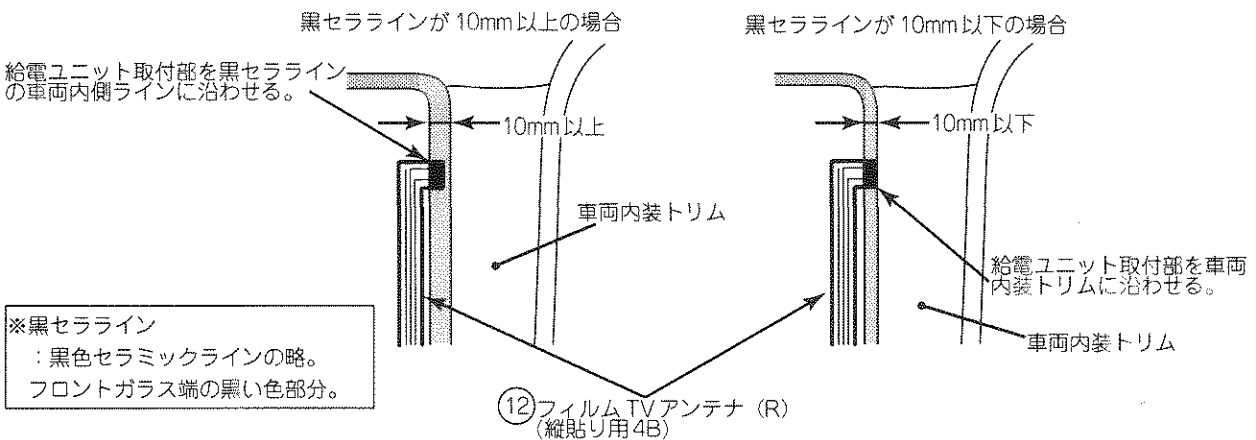
- フィルムTVアンテナは、一度貼付けた後はがしての再貼り付けはできません。また、作業中の貼り直しをくり返すとフィルムTVアンテナのノリの粘着力が弱くなりますので行わないでください。
- 本機は、フロントガラスへの取り付けのみとなります。その他への場所への取り付けは行わないでください。
- 取付位置表面の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。
- このTVアンテナはカーテレビシステムとFM VICS専用です。(カーラジオには接続できません。)
- フィルムTVアンテナ及びケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因となります。
- フィルムTVアンテナは非常にデリケートなため作業時の取扱いには十分ご注意ください。
- 車のエンジンを始動する場合は、テレビ本体の電源は必ず切ってください。
- テレビ、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では受信している周波数以外の電波の影響により、画像・音声が乱れる場合があります。
- 走行中に山陰や送信所の遠いところ、ビルとビルの谷間等電波状態が悪い所では鮮明な画像が得られないことがあります。
- ワイパー動作、車の電装品動作時に電界が乱れ、画像が乱れる場合があります。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。
- フィルムTVアンテナ貼付位置は、車両ボディ、ピラー等の金属部分にあまり近付けすぎますと性能が劣化する場合がありますので取付の注意事項に従った取付作業をお願いします。

— アンテナ取り付け位置（例） —

以下の項目に注意し、フィルムTVアンテナ取付位置を決め下記ページ（TVフィルムアンテナの取付要領）を参考にして取付作業を行なってください



フィルムTVアンテナ貼付位置注意点



※黒セラライン  
：黒色セラミックラインの略。  
フロントガラス端の黒い色部分。

ポイント

- フィルムTVアンテナは、車検証、検査証と重ならないようにしてください。
- フィルムTVアンテナは車両フロントガラス面内側に貼り付けてください。
- 黒セララインが10mm以下の場合は、給電部を内装トリムに沿わせて貼り付けてください。

— フィルムTVアンテナの取付要領（例） —

ポイント

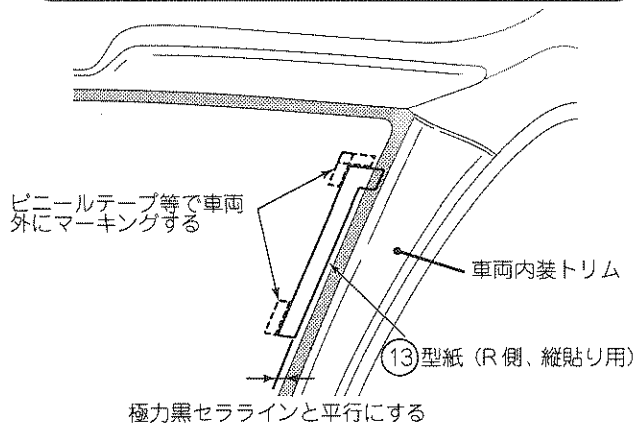
車にTVアンテナを取り付ける前にフィルムTVアンテナ貼付部フロントガラス面を付属のクリーナー（布）で汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。

— 縦貼りフィルムTVアンテナの取付要領 —

ポイント

- フィルムTVアンテナ貼付位置注意点を参考に取付位置を決めてください。
- 図は右側です。左側は型紙を裏返して使用し、同様に作業を行なってください。
- ここでは、内装トリムは外さずに作業を行ってください。

アンテナとピラー、ルーフ（金属部）を近付け過ぎますと受信感度が劣化する恐れがあります。



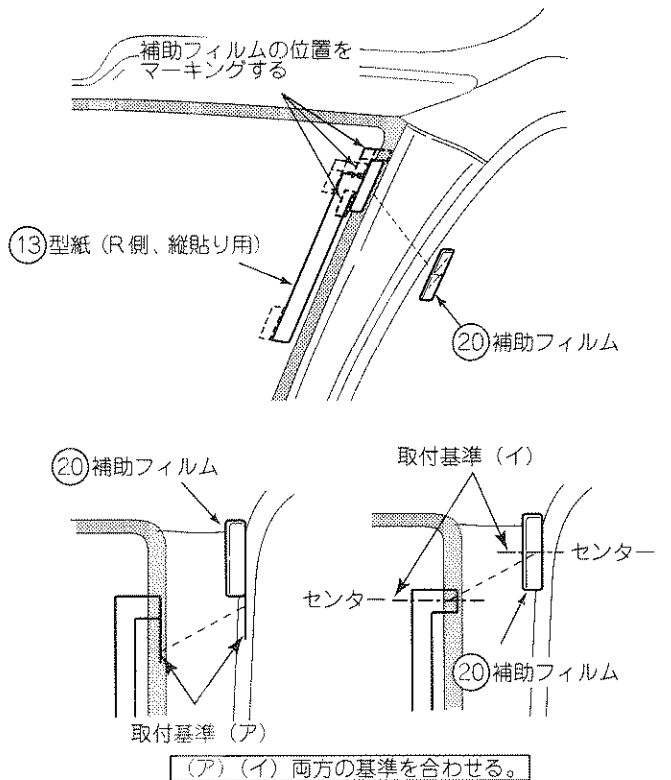
- 1 型紙（縦貼り用）を車両内側より当て、フィルムTVアンテナ取付位置を決める。
- 2 車両外側よりビニールテープ等でマーキングする。

3 型紙を合わせた状態で補助フィルムを車両内側より当て、補助フィルム取付位置を決める。

4 車両外側よりビニールテープ等でマーキングする。

### ポイント

- ここでは、補助フィルムは貼り付けないでください。
- 補助フィルム貼付位置は、補助フィルムの取付基準（ア）と型紙の取付基準（ア）および補助フィルム取付基準（イ）と型紙取付基準（イ）（給電貼付部中心）を合わせてください。
- 型紙は、反転して使用するため破ったり破損しないよう注意してください。

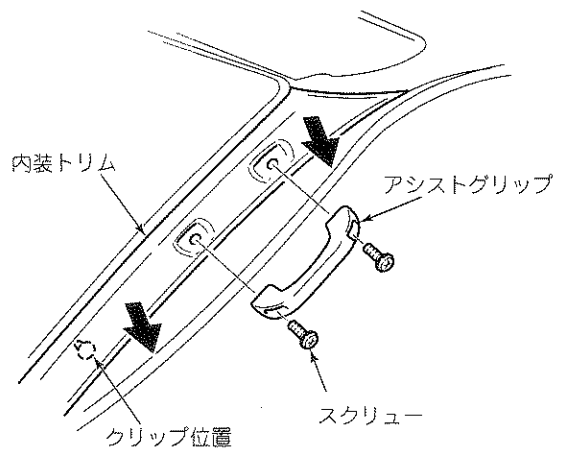


5 車両内装トリムを取り外す。

### ポイント

- 樹脂製の内装トリムは、クリップや、ネジ等で固定されており、無理に外すと破損したり変形する事があります。
- 取り外し作業が困難な場合は、車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。  
(作業工賃はお客様にご負担いただく場合があります。)

—内装トリム取り外し（例）—

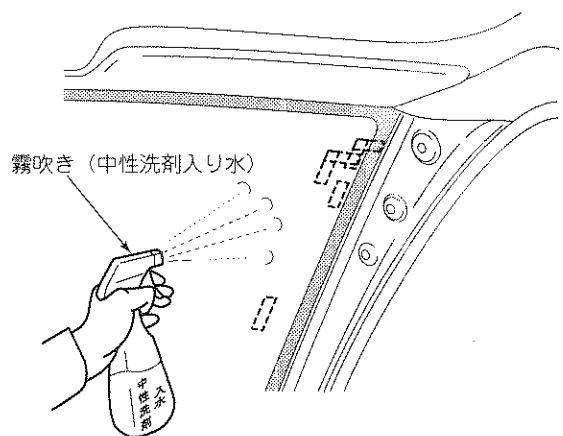


6 車両の内装に水が掛からないようにシートやタオル等を使用して保護してください。

7 補助フィルム貼付位置ガラス面に、中性洗剤を1～2滴を加えた水を均一にスプレーします。

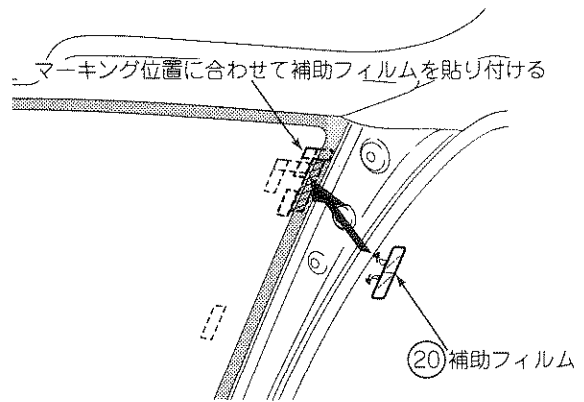
### ポイント

ガラス面には水400～500mlの水に対し中性洗剤1～2滴を加えた物をご使用してください。

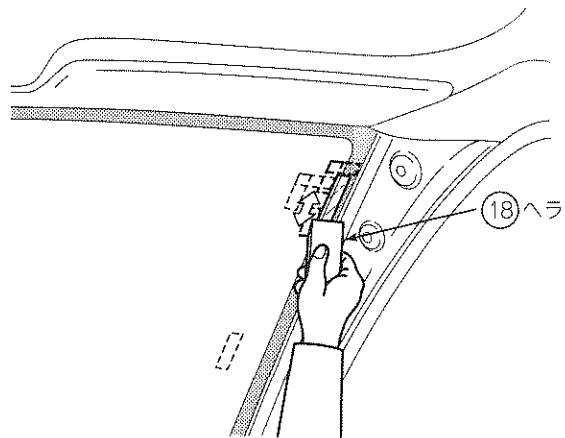




8 補助フィルムのセパレーターをはがし、マーキングに合わせてフロントガラス内側に貼り付ける。



9 シワが付かないように注意して補助フィルムとガラス面との間に入った水、気泡を付属のヘラを使用して押し出す。



10 余分な水分は、柔らかい布などで拭き取ってください。

**ポイント**

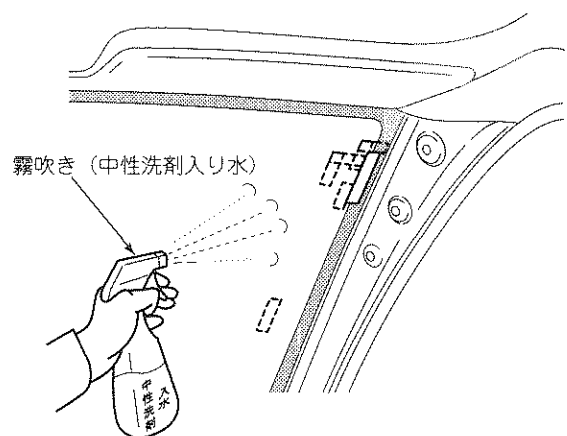
- 補助フィルムとガラス面との間に入った水が残らないように押し出してください。補助フィルム貼付け後の作業は、補助フィルムが動かないように手で押さえながら行ってください。
- 気泡が抜けない場合は、針を利用し空気抜きを行ってください。

11 車両の内装に水が掛からないようにシートやタオル等を使用して保護してください。

12 フィルムTVアンテナ貼付け位置ガラス面に、中性洗剤を1～2滴を加えた水を均一にスプレーします。

**ポイント**

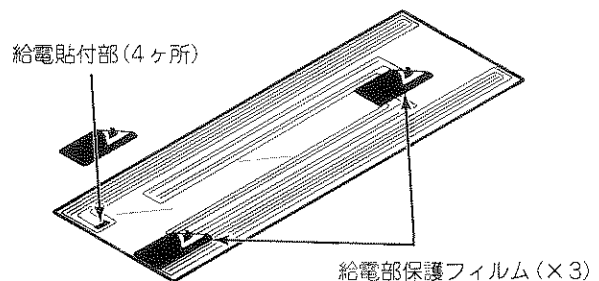
ガラス面には水400～500mlの水に対し中性洗剤1～2滴を加えた物をご使用してください。



13 フィルムTVアンテナの給電部保護フィルムをはがす。

**ポイント**

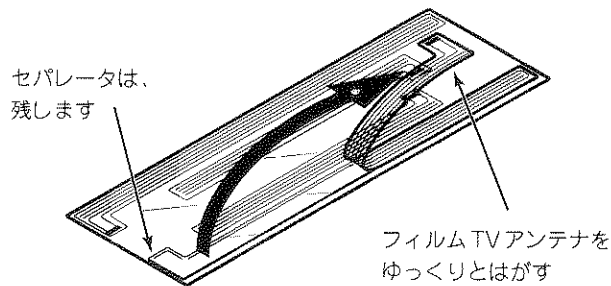
給電貼付部(4ヶ所)に、キズを付れたり汚さないようにしてください。



14 フィルムTVアンテナをシートからはがす。

**ポイント**

フィルムTVアンテナののり面を汚さないようにフィルムTVアンテナをセパレーターからはがしてください。



15 フィルムTVアンテナの、のり面に中性洗剤を1～2滴を加えた水を均一にスプレーします。

**ポイント**

水400～500mlの水に対し中性洗剤1～2滴を加えた物をご使用してください。



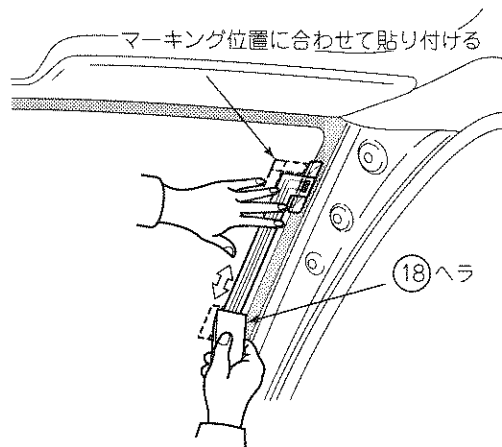
16 フィルムTVアンテナをマーキングに合わせてフロントガラス内側面に貼り付ける。

17 シワやキズが付かないように注意してフィルムTVアンテナとガラス面との間に入った水、気泡を付属のヘラを使用して押し出す。

18 余分な水分は、柔らかい布などで拭き取ってください。

**ポイント**

- フィルムTVアンテナとガラス面との間に入った水が残らないように押し出してください。フィルムTVアンテナ貼付け後の作業は、フィルムTVアンテナが動かないように手で押さえながら行ってください。
- ドライヤー等で無理に乾かすとフィルムTVアンテナ破損の原因となります。
- 気泡が抜けない場合は、針を利用し空気抜きを行ってください。

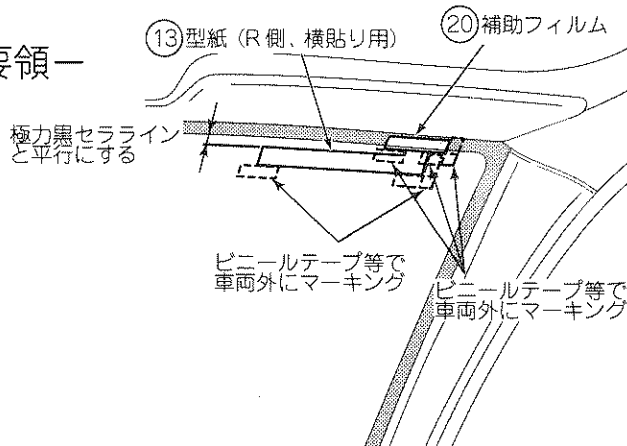


—横貼りフィルムTVアンテナの取付要領—

19 型紙（横貼り用）を車両内側より当て、フィルムTVアンテナの取付位置及び補助フィルムの取付位置を決め、縦貼り取付要領の4～18と同様の手順で作業を行う。

**ポイント**

図は右側です。左側は型紙を裏返して使用し、同様に作業を行なってください。

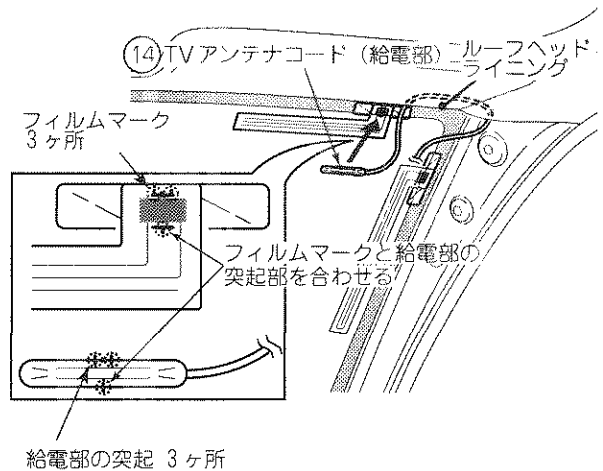


—アンテナコードの配線要領—

20 TVアンテナコード給電部裏面の両面テープハクリ紙をはがし、フィルムTVアンテナ（横貼り）に給電部の突起3点とフィルムのマークを合わせて補助フィルムに貼り付ける。

**ポイント**

- 給電部はフィルムTVアンテナが完全に乾いていることを確認してから貼り付けてください。乾く前に貼り付けるとはがれる場合があります。
- ここではフィルムTVアンテナ縦貼りには給電部を貼り付けないでください。



21 TVアンテナコード（横貼付け側）をルーフヘッドライニング（天井）の中に押し込む。

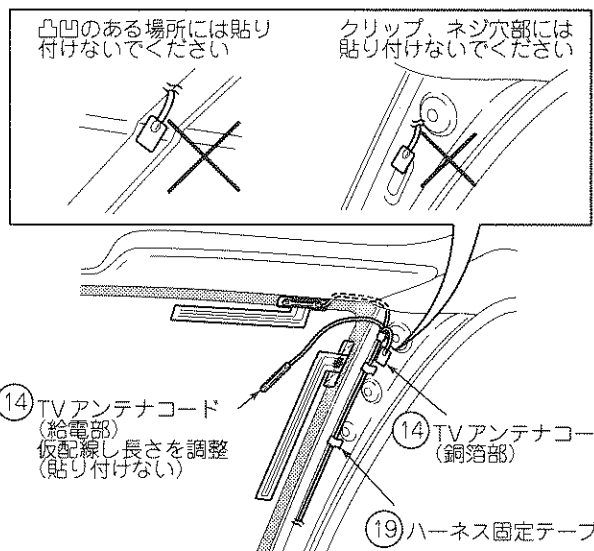
**ポイント**

- ルーフヘッドライニング（天井）との隙間が大きくアンテナコードが取まらない場合は、アンテナコードにハーネス固定テープを巻き付けてください。
- ルーフヘッドライニング（天井）に無理な力を加えたり、折り曲げないように注意してください。
- 給電部に負担をかけないように給電部を手で押さえながらコードの配線を行ってください。
- TVアンテナコードにストレスや、かみ込み等ないようにコードを配線してください。
- ハーネス固定テープは、ハサミ等で切って使用してください。

22 TVアンテナコードの銅箔テープを車両金属部分に貼り付ける。

**ポイント**

- 銅箔テープは、必ず車両の平面な金属部分に全体を貼り付けてください。平面でない部分やクリップ穴部、ネジ穴部等へは貼り付けしないでください。また、ボディの塗装をはがさずに貼り付けてください。
- 銅箔テープを貼り忘れると受信感度が劣化します。



23 TVアンテナコード給電部（縦貼り用）をフィルムTVアンテナ（縦貼り側）貼付部へ仮配線しアンテナコード長を調整する。

**ポイント**

- 内装トリムを復元した際、TVアンテナコードがたるみなく内装トリムに収まるようにまたストレス、かみ込み等ないようにコード長を調整してください。
- ここでフィルムTVアンテナ縦貼りに給電部を貼り付ると内装トリムを復元する際、給電部と干渉し給電部がはがれる恐れがあるため給電部を貼り付けしないでください。

24 TVアンテナコードをハーネス固定テープで配線する。

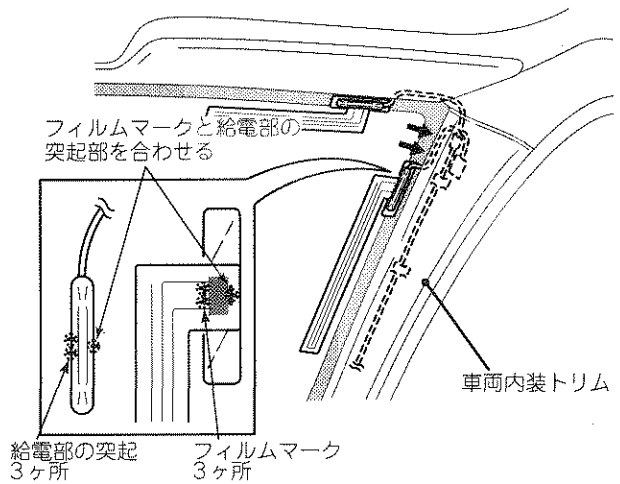
25 取り外した車両内装トリムを元通り復元する。

26 TVアンテナコード給電部裏面の両面テープハクリ紙をはがし、フィルムTVアンテナ（縦貼り）に給電部の突起3点とフィルムのマークを合わせて補助フィルムに貼り付ける。

27 TVアンテナコード（縦貼付け側）を車両内装トリムの隙間に押し込み配線する。

**ポイント**

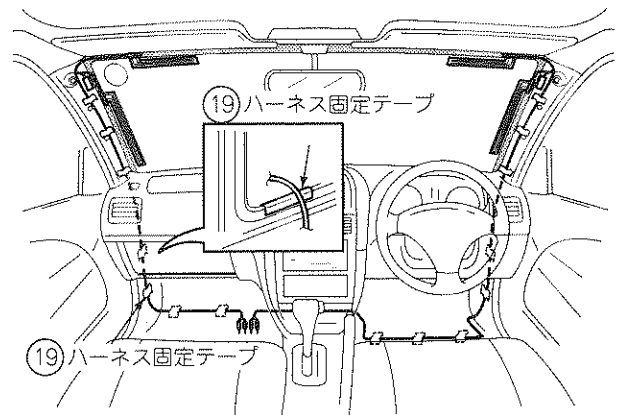
- 給電部はフィルムTVアンテナが完全に乾いていることを確認してから貼り付けてください。乾く前に貼り付けるとはがれる場合があります。
- フィルムTVアンテナ縦貼りの給電部は内装トリムを復元してから貼り付けてください。
- 給電部に負担をかけないように給電部を手で押さえながらコードの配線を行ってください。
- TVアンテナコードにストレスや、かみ込み等ないようにコードを配線してください。



28 アンテナコードをハーネス固定テープで固定しながらアンテナブースター取付位置まで配線する。

**注意**

TVアンテナコード配線箇所等断線の恐れのある場所はハーネス固定テープで保護してください。

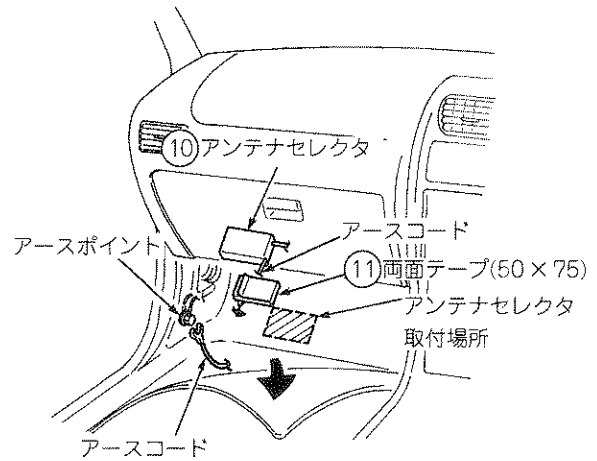


# アンテナセレクタ/アンテナブースターの取り付け・配線

- 1 アンテナセレクタ底面に両面テープ(50×75)を貼り付ける。
- 2 アンテナセレクタを助手席足元のカーペット下のフロア部分等に固定する。
- 3 アースコードは必ずアースのとれる金属部へ接続する。

## ポイント

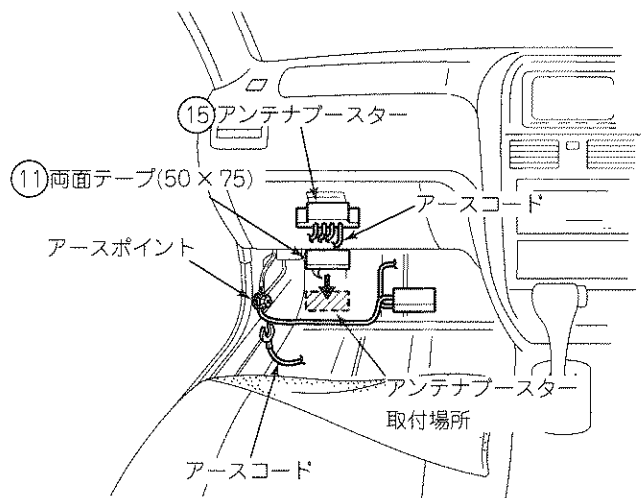
メインユニット、アンテナブースター等への各コード類が届く範囲内で取付位置を決めてください。



- 4 アンテナブースター底面に両面テープ(50×75)を貼り付ける。
- 5 アンテナブースターを助手席足元のカーペット下のフロア部分等に取り付ける。
- 6 アースコードを必ずアースのとれる金属部へ接続する。

## ポイント

メインユニット、アンテナセレクタ等への各コード類が届く範囲内で取付位置を決めてください。



## —配線経路概要(例)—

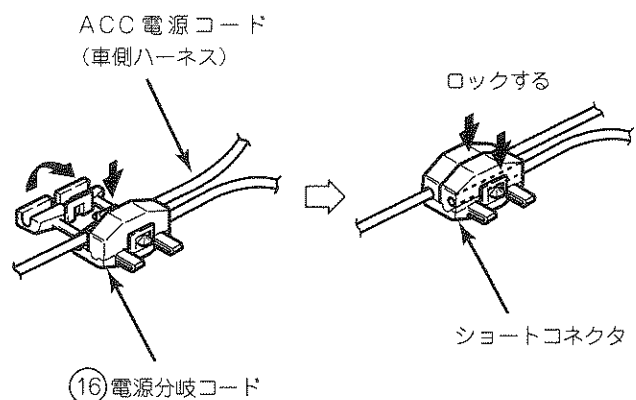
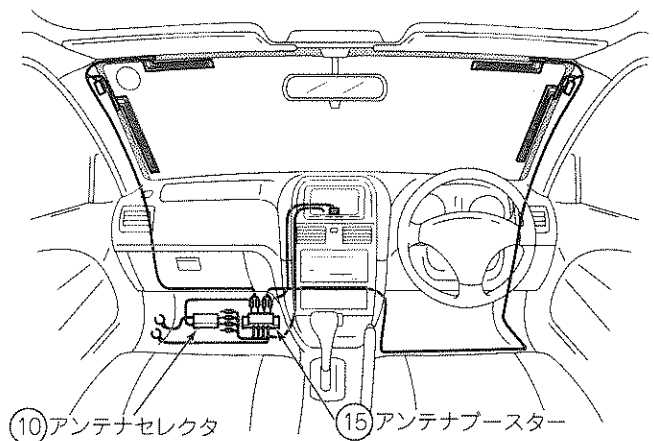
- 7 各コードを配線する。

## 警告

●コード類は運転操作の妨げにならないようテープなどでまとめてください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。

## —ショートコネクタ使用方法—

- 1 ACC電源は、ギボシまたはギボシに電源分岐コードを接続して取り出してください。
- 2 電源分岐コード (ACC 赤色) に車のACC電源コードをショートコネクタに挿入する。
- 3 ショートコネクタのターミナル (金属部) をプライヤー等で押し込む。
- 4 ショートコネクタのふたをかぶせロックがかかるまで押し込む。



# GPSアンテナの取り付け

## ポイント

### —取り付ける前に—

- 車内に取り付ける場合、レザーワックス等がかかっているときは、中性洗剤でよくふき取り完全に乾いてから貼り付けてください。
- 取付位置表面の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。
- 車内に取り付ける場合、貼り付け面の表面が本皮、木製パネル、布ばり等樹脂製でない場合は、表面仕上げを傷める場合がありますので貼り付けしないでください。
- 両面テープは一度はがすと再度接着することはできませんのでご注意ください。

### —取り付け・取り扱い上のご注意—

- 車内にGPSアンテナを取り付けた場合、取り付け位置やボディ形状によっては車外に取り付けた場合に比べ、GPSの測位率が低下し、現在地位置ズレを生じやすくなります。この場合はGPSアンテナは車外に取り付けてください。
- フロント、リアウィンドガラスの材質によりGPS衛星受信感度が非常に低下する場合があります。この場合はGPSアンテナは車外に取り付けてください。
- GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの受信感度が落ちる場合があります。
- テレビラジオ放送の音声や映像に妨害を与えることがありますので、GPSアンテナコードは、テレビ、ラジオアンテナやテレビ、ラジオアンテナコードからできるだけ離して取り付けてください。
- GPSアンテナに付いている磁石は大変強力です。アンテナを取り付けるときは以下の点に注意してください。
  - ・地面や砂ぼこりの多い場所には置かないでください。砂鉄が付着して取り付けの際にボディに傷つける恐れがあります。
  - ・時計や磁気カード等に近付けないでください。時計や磁気カードが故障したり使用できなくなる恐れがあります。
- 天空の遮へい物（フロントピラー、ルーフパネル）を避けた位置に取り付けてください。
- GPSアンテナは車のルーフのように、なるべく電波が遮られない場所に水平に取り付けてください。遮られた方向の衛星の電波は、受信できません。
- 盗難やイタズラ防止のため、車から長時間はなれる場合は、アンテナ本体をはずしてください。
- アンテナを取り外す場合、アンテナ本体を持って取り外してください。コードを持って引っ張ると断線等により故障の原因となることがあります。
- 洗車の際にはアンテナ本体をはずしてください。（やむを得ずアンテナ本体を取り付けた状態で洗車をする場合は、車室内への水の侵入を防ぐために配線部への直接放水はさけてください。）

**警告**

●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめてください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダル等に巻き付くと危険です。

—車内に取り付ける場合（例）—

**ポイント**

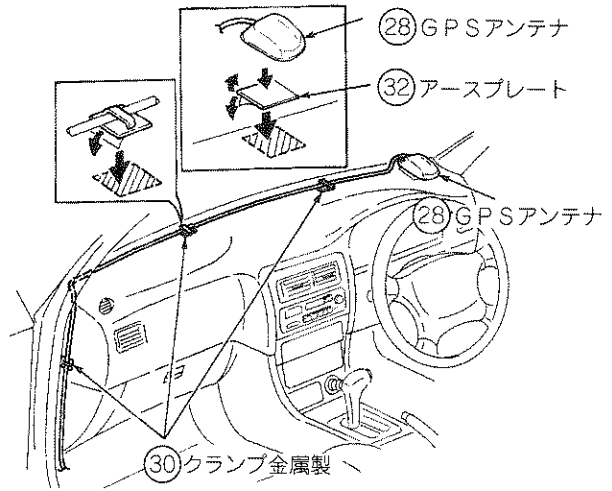
ダッシュボード上に取り付ける場合は、メインユニットを中心に半径50cm以上離してください。GPSの測位率が低下する場合があります。

- 1 ダッシュボード上の平らで天空が広く見渡せる場所に取付位置を決める。
- 2 アースプレートに両面テープを貼り付け、シートをはがし、ダッシュボード上に貼り付ける。
- 3 GPSアンテナをアースプレートに取り付ける。

**ポイント**

アンテナ感度低下防止の為、アースプレートは必ずご使用ください。

- 4 GPSアンテナ用コードをダッシュボード上にクランプ金属製でしっかり固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。

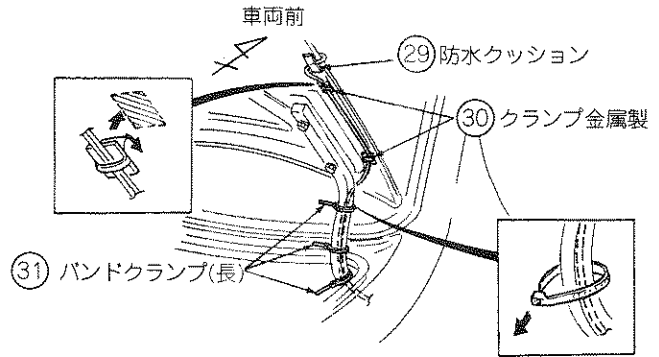
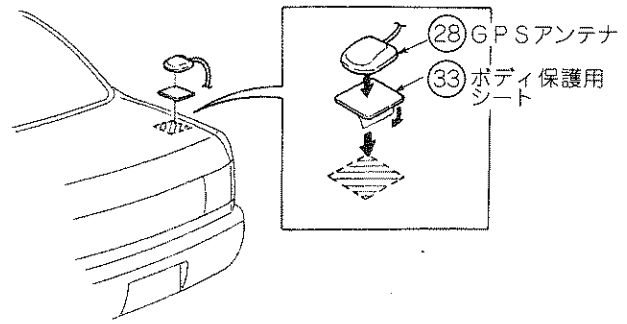


**ポイント**

車内にGPSアンテナを取り付けた場合、取付位置やボディ形状によっては車外に取り付けた場合に比べ、GPSの測位率が低下し、現在地位置ズレを生じやすくなります。この場合、GPSアンテナは車外に取り付けてください。

—車外に取り付ける場合（例）—

- 1 GPSアンテナがしっかりと固定できる場所を選び、ボディ保護用シートのハクリ紙をはがし、車に貼り付ける。
- 2 GPSアンテナをボディ保護用シートの上に取り付ける。
- 3 GPSアンテナ用コードをトランク内側に引き込みトランクフードを開めたとき、アンテナ用コードがウェザーストリップにあたる場所に防水クッションを貼り付ける。
- 4 アンテナコードをバンドクランプ（長）及び、クランプ（金属製）でしっかり固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。



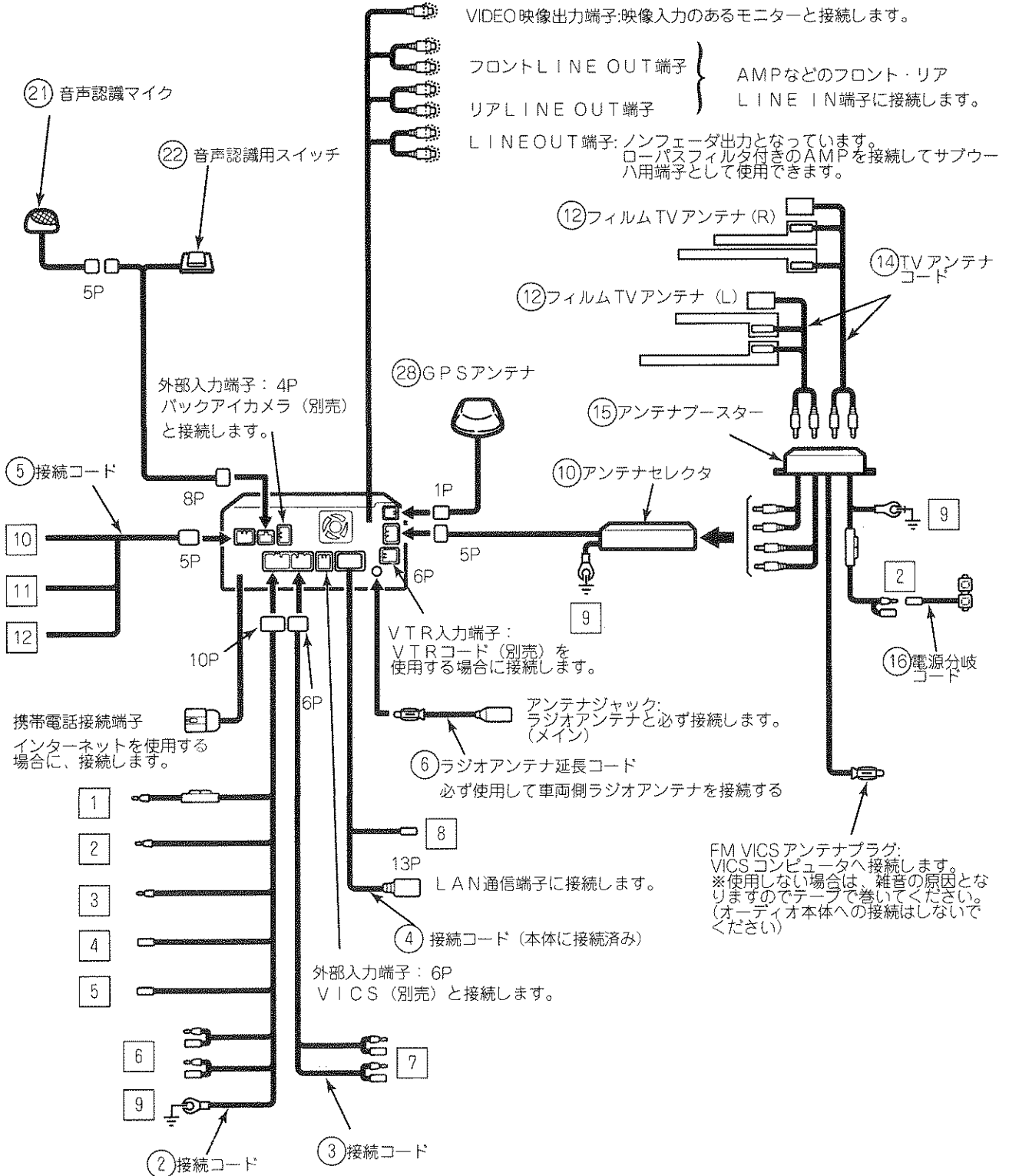
# 接続のしかた



## 警告

- 電源リード線の被覆を切って、他の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。
- コード類は運転操作の妨げにならないようテープなどでまとめてください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。

## —各コードの名称と役目—



## ポイント

- ピンプラグコードを接続しない場合、キャップを取り付けた状態にしておいてください。キャップをはずすとショートにより雑音の原因となります。
- TVアンテナコードは、直接アンテナセレクタへ接続しないでください。必ずアンテナブースターへ接続してください



●電源コード・スピーカコード・信号コードの線色と接続先

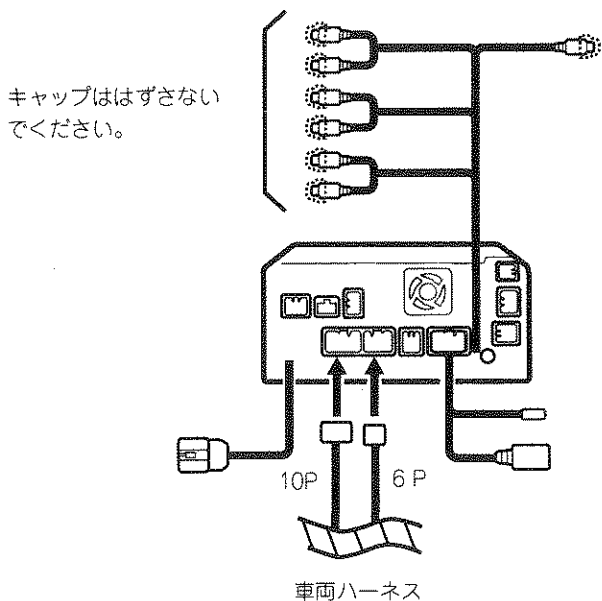
番号	線色	コードの名前	接続先	接続要領
1	黄色	バッテリー電源端子	車のキーに関係なく常時電源が加わっているところに接続します。	
2	赤色	ACC電源端子	車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れ、ACCにすると電源が加わるところに接続します。	
3	橙/白色	照明用電源端子	車のライトスイッチをONにしたときに、電源が加わるところに接続します。	
4	青色	オートアンテナ用電源端子	アンテナがガラスアンテナの場合、車側のアンテナアンプ電源端子に接続します。 アンテナがオートアンテナの場合、車側のオートアンテナのコントロール端子に接続します。 <b>ポイント</b> オートアンテナ車の場合 本機は*緊急放送受信機能を持っておりこのためラジオ以外のソースを使用している場合でもアンテナは下がりません。アンテナを下げる場合は本体の電源スイッチをOFFしてください。 <b>※緊急放送受信機能とは</b> FM多重放送の緊急放送を受信したとき、自動的に緊急情報に番組が切り替わる機能です。	
5	青/白色	システムコントロール電源端子	本体の電源スイッチON/OFFに連動して電源を供給する端子です。(外部アンプのコントロールは <b>8</b> ) をご使用ください。 ※トヨタ車のモーターアンテナには <b>4</b> オートアンテナ用電源端子と併用してお使いください。	18ページ
6	白色 白/黒色 灰色 灰/黒色	フロントスピーカ出力端子	フロントスピーカへ接続します。 白色：左+            白/黒色：左- 灰色：右+            灰/黒色：右-	
7	緑色 緑/黒色 紫色 紫/黒色	リアスピーカ出力端子	リアスピーカへ接続します。 緑色：左+            緑/黒色：左- 紫色：右+            紫/黒色：右-	
8	青/白色	ACC ON/OFF連動電源端子	外部アンプ等の機器にはこの端子をお使いいただくとオーディオOFF状態でもナビの音声案内が可能で す。外部アンプ等のコントロール電源端子と接続 します。 ※エンジン始動時やキーON時、まれにポップノイズ が発生しますが故障ではありません。	
9	黒色	アースコード	車のボディのアースが確実に取れる所へ取り付けます。	
10	赤/白色	パーキングブレーキ端子	車のパーキングブレーキ端子へ接続します。	19ページ
11	紫/白色	車速パルス信号端子	車の車速パルス信号端子へ接続します。	20ページ
12	緑色	リバース端子	バックアイカメラを接続する場合に車のリバース信号へ接続します。	21ページ

一本機単体で使用する場合の接続（他に組み合わせる機器がない場合）

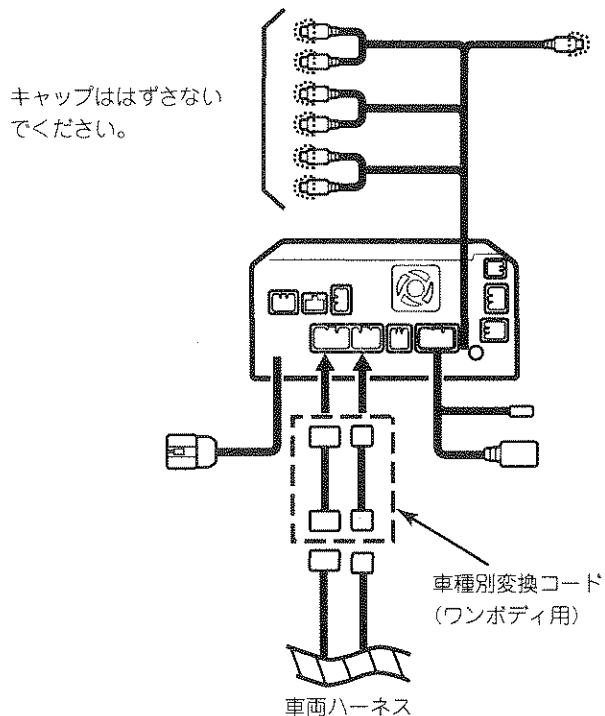
**ポイント**

トヨタ車（10P）／ダイハツ車（10P）には本機をそのまま接続できる車もあります。それ以外の車の場合は、車種別変換コード（ワンボディ用）をお買い求めください。

トヨタ車／ダイハツ車の例



日産車の例

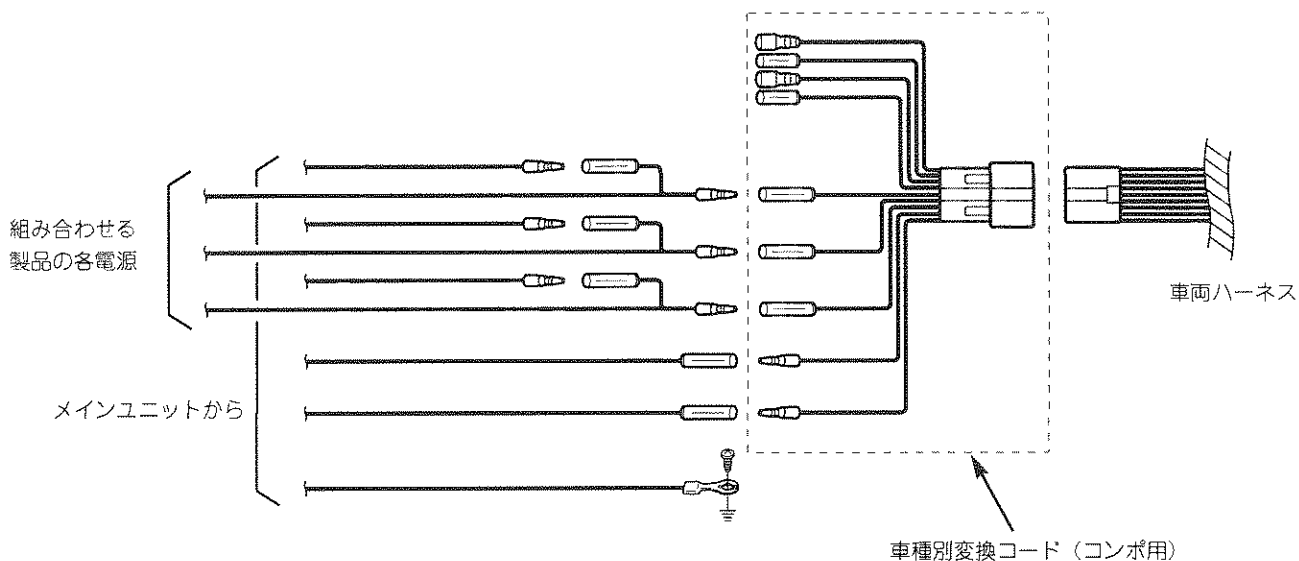


別売の製品と組み合わせる場合の接続

**ポイント**

それぞれの電源が取り出せるよう車種別変換コード（コンポ用）をお買い求めください。（詳しくは販売店にご相談ください。）

車種別変換コード使用例



# パーキングブレーキ・車速パルス用信号・リバースについて

## 警告

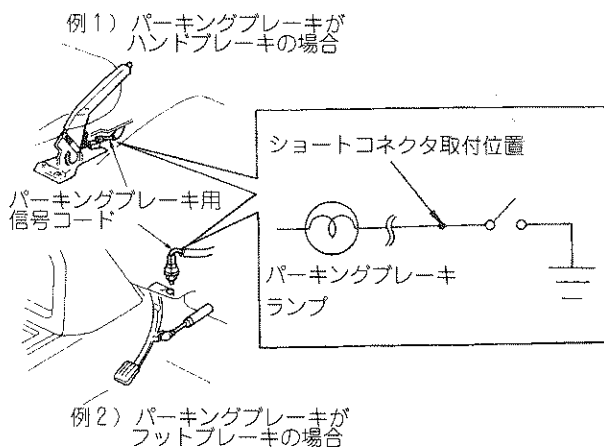
- 車のパーキングブレーキ・車速パルス用信号・リバースを充分確認してから接続してください。コードを間違えると車両事故や故障の原因となります。
- 車速パルス信号コードのラベルの中には保護回路が入っていますので、コードを切断したり保護回路をはずしたりしないでください。事故の原因となります。
- コード類は運転操作の妨げにならないようテープなどでまとめてください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。

## ポイント

- パーキングブレーキコード・車速パルス用信号コード・リバースコードの取出し位置は、車種やグレードにより異なります。詳しくは車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。（作業工賃はお客様にご負担いただく場合があります。）
- リバースコードは、バックアイカメラを合せない場合は接続不要です。ショートコネクタをビニールテープなどで巻いてください。

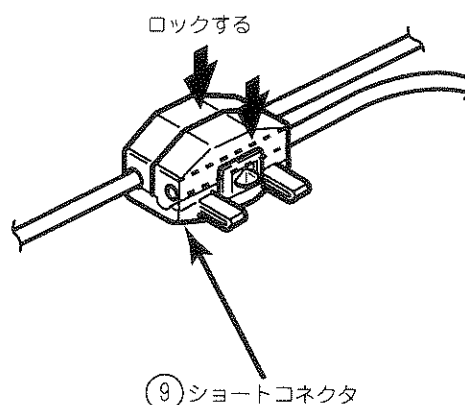
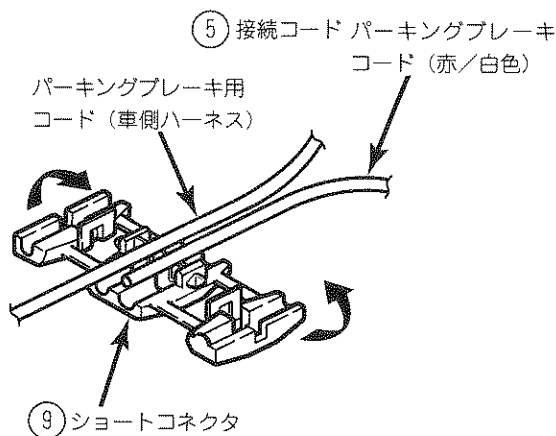
### パーキングブレーキの接続について

- 1 メインユニットのパーキングブレーキ信号コード（赤／白色）を車のパーキングブレーキコードへショートコネクタを使用して接続する。
- 2 パーキングコードをメインユニット取付位置まで配線する。



### ショートコネクタ使用方法

- 1 パーキングブレーキコード（赤／白色）と車のパーキングブレーキコードをショートコネクタに挿入する。
- 2 ショートコネクタのターミナル（金属部）をプライヤー等で押し込む。
- 3 ショートコネクタのふたをかぶせロックがかかるまで押し込む。

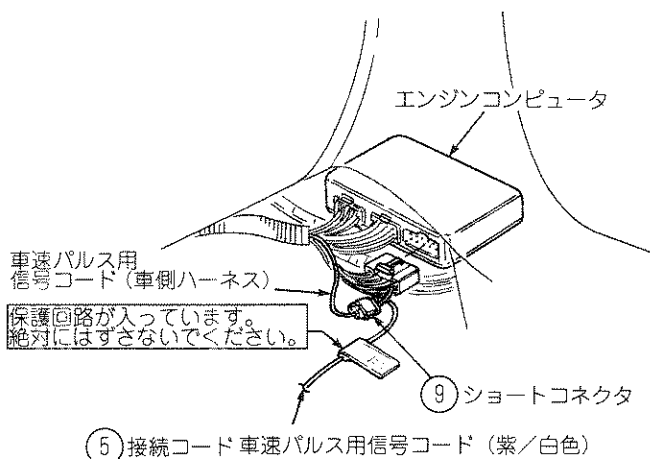


## ポイント

●車速パルスは必ず接続してください。接続しないと測位精度が非常に低下します。

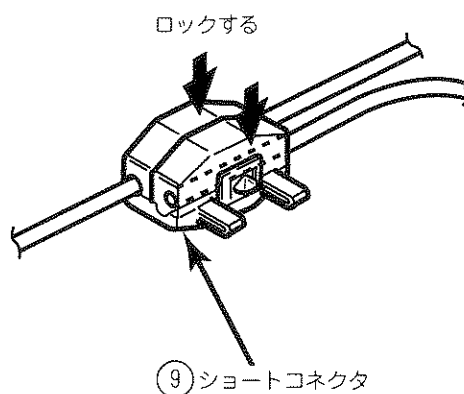
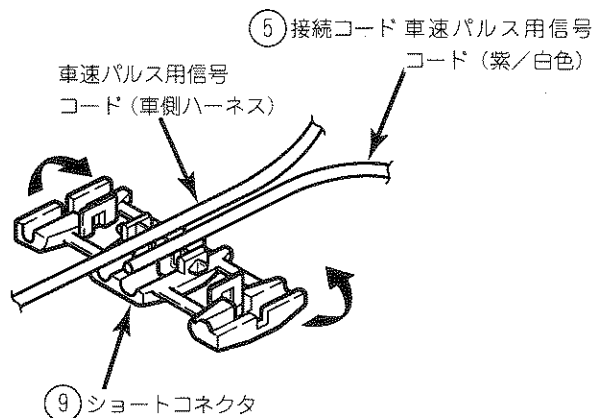
### —車速パルス信号の接続について—

- 1 メインユニットの車速パルス信号コード（紫／白色）を車の車速パルス用信号コードへショートコネクタを使用して接続する。
- 2 車速パルス信号コードをメインユニット取付位置まで配線する。



### —ショートコネクタ使用方法—

- 1 車速パルス信号コード（紫／白色）と車の車速パルス用信号コードをショートコネクタに挿入する。
- 2 ショートコネクタのターミナル（金属部）をプライヤー等で押し込む。
- 3 ショートコネクタのふたをかぶせロックがかかるまで押し込む。

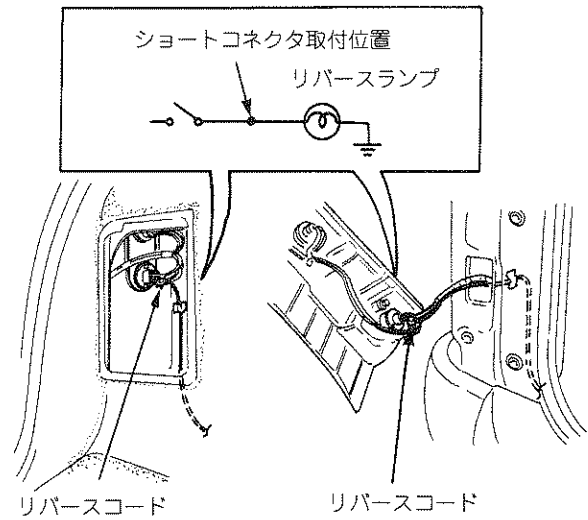


## ポイント

- リバースコードは、バックアイカメラを組み付ける場合に接続が必要です。バックアイカメラを組み付けない場合にはショートしないようにリバースコードをビニールテープなどで巻いてください。

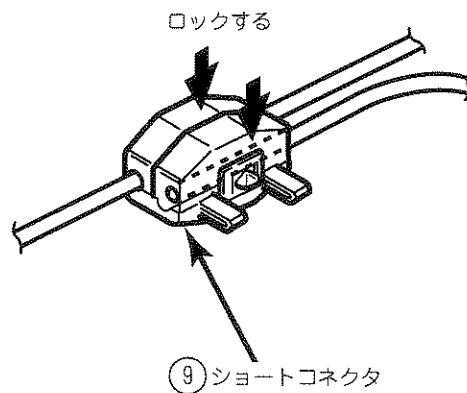
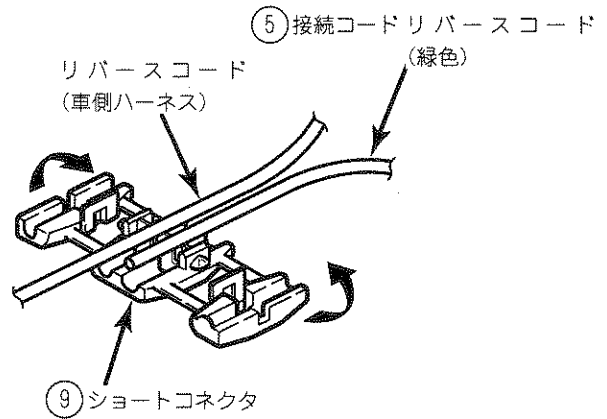
### ーリバースの接続についてー

- 1 メインユニットのリバースコード（緑色）を車のリバースコードへショートコネクタを使用して接続する。
- 2 リバースコードをメインユニット取付位置まで配線する。



### ーショートコネクタ使用方法ー

- 1 リバースコード（緑色）と車のリバースコードをショートコネクタに挿入する。
- 2 ショートコネクタのターミナル（金属部）をプライヤー等で押し込む。
- 3 ショートコネクタのふたをかぶせロックがかかるまで押し込む。



# ボイスコントロールシステムの取付について

## ポイント

- 取付位置表面の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。
- 貼り付けた後は、確実に密着するよう十分押し付けてください。

## 警告

- 本機を、シフトレバー・ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所や同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故や怪我の原因となります。

## 注意

- コード類を配線するときは、車両部品とのかみ込みに注意してください。断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となることがあります。
- 振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けは避けてください。外れて事故や怪我の原因となることがあります。

## — ステアリングコラムに取り付ける場合 (例) —

- 1 コラムカバーにマイクの取付位置を決めマイクコード用の穴をあける。

## 注意

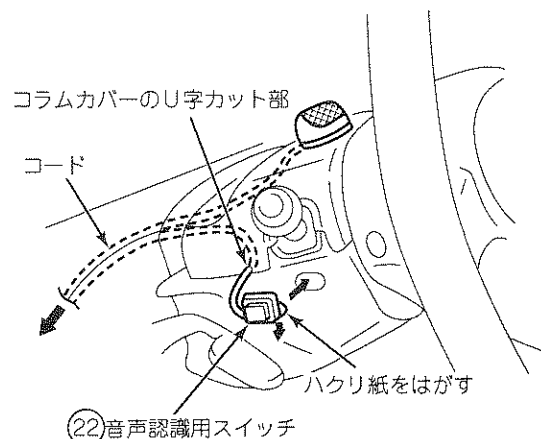
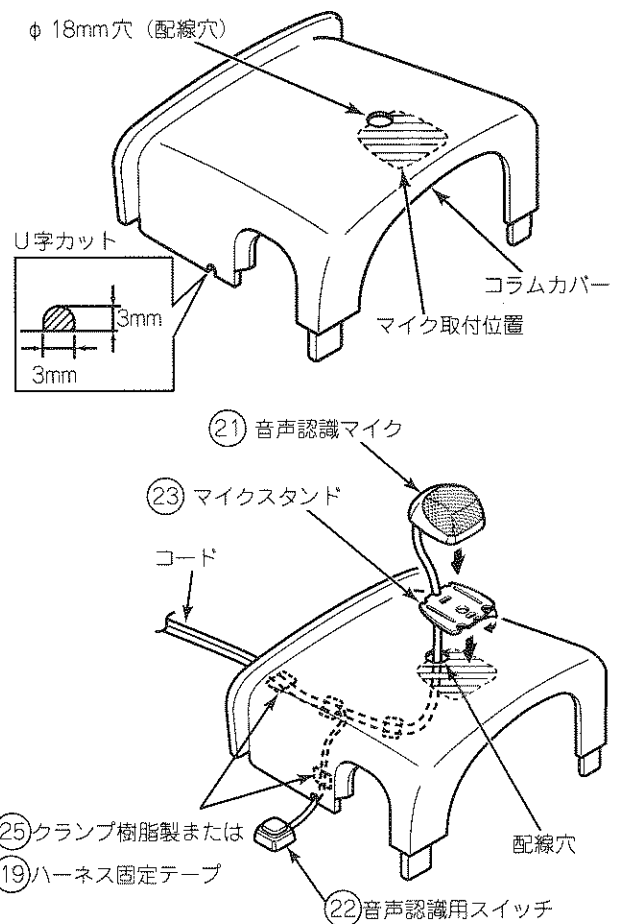
- ドリルで穴をあける時は、保護メガネ等を使用してください。

- 2 スイッチコード用の穴をU字にカットする。
- 3 マイクをマイクスタンドに取り付ける。
- 4 マイクコードを配線穴に通しコラムカバーにマイクを貼り付ける。
- 5 マイクコード及びスイッチコードをコラムカバー裏面にクランプ（樹脂製）及びハーネス固定テープで固定しながら配線する。

## ポイント

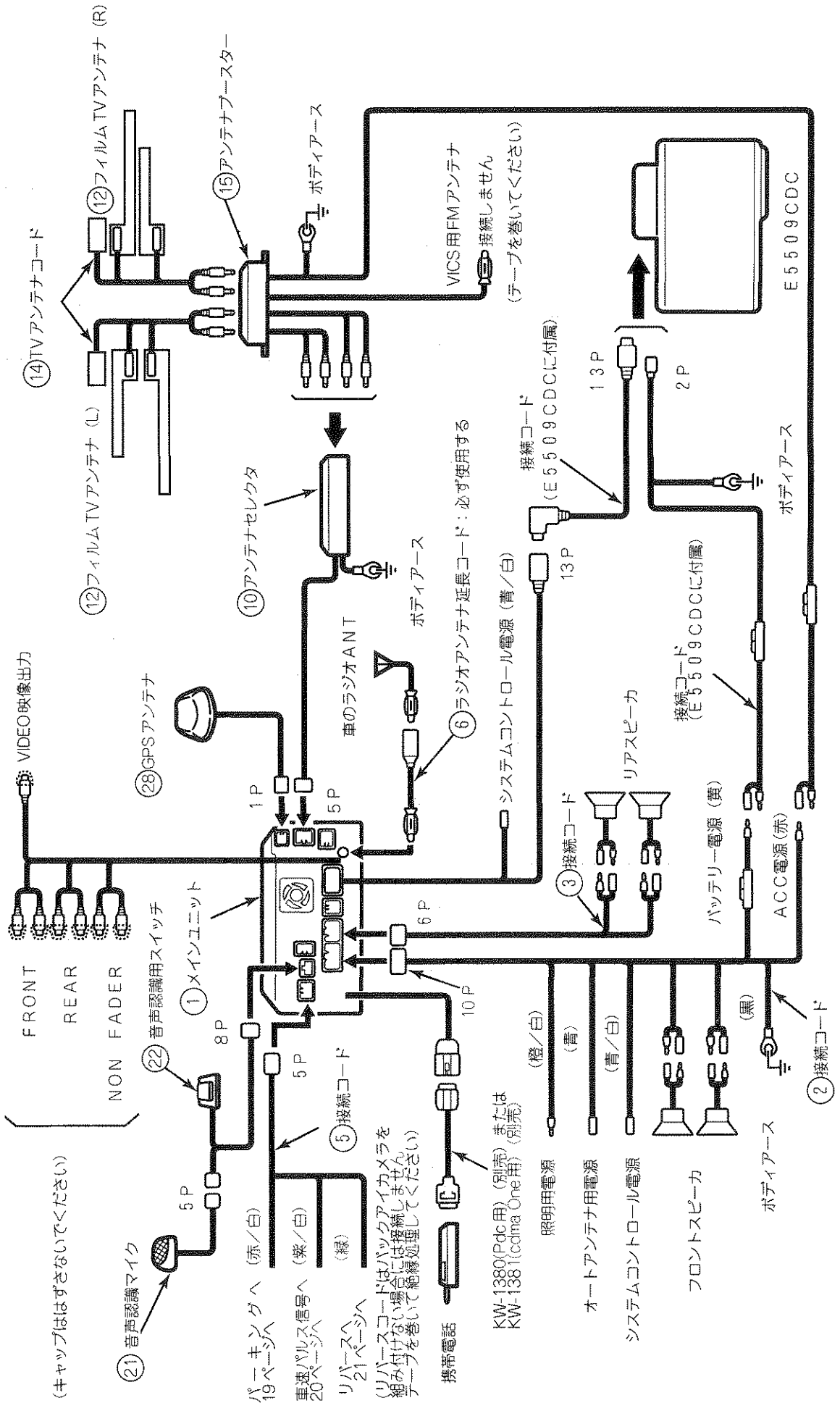
ハーネス固定テープは、ハサミ等で切って使用してください。

- 6 コラムカバーを元通り復元し、スイッチコードをU字カット部より引き出す。
- 7 スイッチをコラムカバーに貼り付ける。
- 8 コードをメインユニット取付位置まで配線する。
- 9 余ったコードは運転の妨げにならないようテープで固定する。



一 接続例 1 -

AVN7701D+E5509CDC



(キャップははずさないでください)

②1 音声認識マイク

②2 音声認識用スイッチ

①メインユニット

パーキングハ (赤/白) 5 P

車速パルス信号ハ (紫/白) 5 P

リパースハ 21ベーンハ (緑) 5 P

⑤接続コード  
(リパースコードはバックアイカメラを  
適用付けない場合には接続しません。  
テープを巻いて絶縁処理してください)

携帯電話 10 P

KW-1380(Pdc用) (別売) または  
KW-1381(cdima One用) (別売)

照明用電源 (橙/白)

オートアンテナ用電源 (青)

システムコントロール電源 (青/白)

フロントスピーカ (黒)

ボディアース

②接続コード

VIDEO映像出力

FRONT

REAR

NON FADER

②8 GPSアンテナ

車のラジオANT

ボディアース

⑥ラジオアンテナ延長コード: 必ず使用する

システムコントロール電源 (青/白) 13 P

接続コード (E5509CDCに付属)

リアスピーカ

接続コード (E5509CDCに付属)

ボディアース

ACC電源 (赤)

ボディアース

③接続コード

13 P

2 P

ボディアース

E5509CDC

E5509CDC

ボディアース

②接続コード

一 接続例 2 -

AVN701D+E5509CDC+VIX101

